



6年生 卒業 おめでとう！！

3月19日（木）、卒業式がおこなわれました。担任の江崎先生に名前を呼ばれたあと「はい」と清々しい返事をし、それぞれが卒業証書を受け取りました。お別れの言葉を伝え、「いのちの歌」「旅立ちの日に」の二曲を歌い、感動とともに卒業式が終わりました。今後、新たな道に歩んでも、しっかりと自分で考えることができる子どもたちに育ち、郡山小学校を巣立ちました。

最後の給食



最後の学活



奉仕作業(6年生)

郡山小学校35年間で卒業生は合計3,619名となりました。

6年生が、卒業する前に感謝の気持ちをこめて、特別教室の掃除をしました。いつも以上に丁寧に掃除をして、ワックスをかけました。



《式歌「いのちの歌」についての内容です》

さて、今日、これから皆さんが歌う「いのちの歌」は、人が迷い、立ち止まりながらも、「誰と生きるのか」そして「なぜ生きるのか」という問いを、心の奥で抱きながら歩いていく姿を、静かに、あたたかく教えてくれる歌です。人は誰でも、人生のどこかで立ち止まります。うまくいかないことや思い通りにならないことに出会い、「どうしてだろう」と空を見上げる日もあるでしょう。そんなとき、思い出してください。皆さんの命は、かけがえのない奇跡であるということ。家族の人たちが誕生をどれほど喜び、小さな手を握りしめ、「元気に育ってほしい」と願ってきたかということ。皆さんの命は、一人だけのものではありません。家族の願い、友達の支え、先生方の祈り、地域の皆様のあたたかなまなざしに守られ、今日までつながれてきた命です。

《式歌「旅立ちの日に」についての内容です》

そして「旅立ちの日に」は、別れのさびしさを胸に抱きながらも、それでも 前を向き、未来へ一歩を踏み出そうとする心を高らかに響かせています。今日は、さよならを告げる日であると同時に、新しい世界へ勇気をもって歩き出す日でもあります。同じ教室で過ごした仲間とも、これからは別々の道を歩むこととなります。しかし、共に笑い、共に悩み、共に励まし合った日々は決して消えることはありません。皆さんの心の中で、これからも生き続けます。未来は、まだ白いページです。どんな物語を書くのかは、皆さん次第。迷い、遠回りをすることもあるでしょう。それでも、自分を信じ、仲間を信じ、未来を信じて歩んでください。

《卒業生の皆さんへ向けてのメッセージです》

卒業生の皆さん。皆さんは、この郡山小学校の最後の卒業生です。この校舎に、皆さんの笑顔と声が、最後の思い出として刻まれます。これから先、もしも心がくじけそうになる日があったら、今日この日のことを思い出してください。仲間と声を合わせて歌う、この瞬間を思い出してください。「生きてゆくことの意味」を問いかけるそのたびに、今日の温かなまなざしを思い出してください。「今、別れのとき」と歌うそのとき、未来へ飛び立とうとする自分の姿を思い出してください。今日は別れの日です。胸がいっぱいになる別れの中で、それでも私たちは前を向きます。

どうか忘れないでください。ここに立っていることは、決して当たり前ではないということ。

支えてくれた家族へ、

出会ってくれた友へ、

守ってくれた地域のみなさんへ、

あなたたちの可能性を信じてくれた先生へ、

そして、ここまで生きてきた自分自身の命へ。

胸を張って、言える人になってください。「ありがとう」と。

そして、未来を信じて、勇気をもって羽ばたいてください。今、別れのとき。飛び立とう、未来を 信じて。ご卒業、本当に おめでとうございます。